



平成 24 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 ホ シ デ ン 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 古 橋 健 士
 (コード番号 6804 東証第一部・大証第一部)
問合せ先 取締役 社長室長 本 保 信 二
 (TEL 072-993-1010)

平成 24 年 3 月 期 通 期 に お け る 特 別 損 失 の 計 上、
及 び 業 績 予 想 値 と 実 績 値 と の 差 異 に 関 す る お 知 ら せ

平成 24 年 2 月 3 日に公表いたしました平成 24 年 3 月 期 通 期 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)の業績予想と本日公表の実績に差異が生じましたのでお知らせいたします。また、特別損失の計上を行いましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

(1) 減損損失の計上

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社及び当社連結子会社が保有する固定資産につきまして、将来の回収可能性を検討いたしました結果、当期において、固定資産帳簿額を回収可能額まで減額し、23 億 62 百万円を減損損失(特別損失)として計上しております。なお、上記に伴い平成 25 年 3 月 期におきまして約 4 億円の固定費(減価償却費)が削減される見込みであります。

(2) 関係会社株式評価損(個別)の計上

当社が保有する関係会社株式のうち、実質価額が著しく低下した海外子会社の株式について減損処理を実施し、関係会社株式評価損を特別損失として計上しております。

① 平成 24 年 3 月 期 に お け る 関 係 会 社 株 式 評 価 損

(A) 平成 24 年 3 月 期 末 の 関 係 会 社 株 式 評 価 損 の 総 額	4,546 百万円
(B) 平成 23 年 3 月 期 末 の 単 体 純 資 産 額 (A/B×100)	89,707 百万円 (5.1%)
(C) 平成 23 年 3 月 期 の 単 体 経 常 利 益 額 (A/C×100)	1,232 百万円 (369.0%)
(D) 平成 23 年 3 月 期 の 単 体 当 期 純 利 益 額 (A/D×100)	788 百万円 (576.9%)

※当社の決算期末は、3 月 31 日であります。

② 今 期 の 業 績 へ の 影 響

平成 24 年 3 月 期 の 個 別 決 算 に お け て、関係会社株式評価損 4,546 百万円を特別損失として計上いたします。なお、関係会社株式評価損につきましては、連結上は消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

(3)貸倒引当金繰入(個別)の計上

当社の海外子会社の業績が悪化したため、貸倒引当金繰入 1,519 百万円を特別損失として計上しております。連結上は消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

2. 平成 24 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績の差異 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 170,000	百万円 △3,200	百万円 △4,200	百万円 △3,600	円 銭 △53.86
今 回 実 績 (B)	172,936	△4,122	△3,552	△5,251	△78.57
増 減 額 (B - A)	2,936	△922	648	△1,651	
増 減 率 (%)	1.7	—	—	—	
(ご 参 考) 前 期 実 績 (平 成 2 3 年 3 月 期)	201,680	3,272	2,480	1,434	21.05

3. 差異が生じた理由

売上高につきましては、ほぼ予想どおり推移いたしましたが、営業利益につきましては、原価低減対策が遅れたため、経常利益につきましては、期末の為替レートが想定を上回る円安・ドル高となったため、当期純利益につきましては、固定資産に伴う特別損失の計上があったため、差異が生じることになりました。

以 上